

双日およびＪＲ西日本とのコーポレートＰＰＡ実施の合意
～再エネ由来の電力供給と環境価値提供を組み合わせた国内最大規模の取組み～

２０２３年１２月１４日
関西電力株式会社

当社、双日株式会社（以下、双日）および西日本旅客鉄道株式会社（以下、ＪＲ西日本）は本日、コーポレートＰＰＡ※^１の実施に合意しました。

本合意に基づき、双日が設立する発電事業者が太陽光発電設備を開発・運営し、当社が小売事業者として、ＪＲ西日本への電力の調達・供給を行うもので、２０２６年度～２０２７年度に供給を開始する予定です。

具体的には、当社がＪＲ西日本へ、約５０，０００ｋＷの太陽光発電設備による再エネ由来の電力供給と環境価値を提供します。その結果、ＪＲ西日本の近畿エリアの主要路線※^２に再エネ由来の電気が供給されることとなります。

再エネ由来の電力供給と環境価値の提供を合わせて行うコーポレートＰＰＡとしては、国内最大規模となります。

また、本件により削減されるＣＯ_２排出量は、年間約３６，０００ｔ※^３になります。

当社グループは、今後とも再エネ開発・運営を行う事業者との連携を広く推進し、２０５０年のゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※１：「Power Purchase Agreement」（電力供給契約）の略。需要家と発電事業者が小売電気事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結ぶ、電力供給・調達方法。需要家主導で、３者が一体となり、再生可能エネルギー導入を進めるＵＤＡ（User Driven Alliance）モデルの一つ。

※２：大阪環状線およびＪＲゆめ咲線（２０２３年６月１９日お知らせ済）と今回の対象であるＪＲ京都線・神戸線、ＪＲ宝塚線を始めとしたアーバンネットワークの主要路線の列車運転用電力が対象。

※３：２０２１年度全国平均係数 ０．４３４ｋｇ－ＣＯ_２／ｋＷｈから算出。

以 上

別紙：双日およびＪＲ西日本とのコーポレートＰＰＡ基本合意の概要

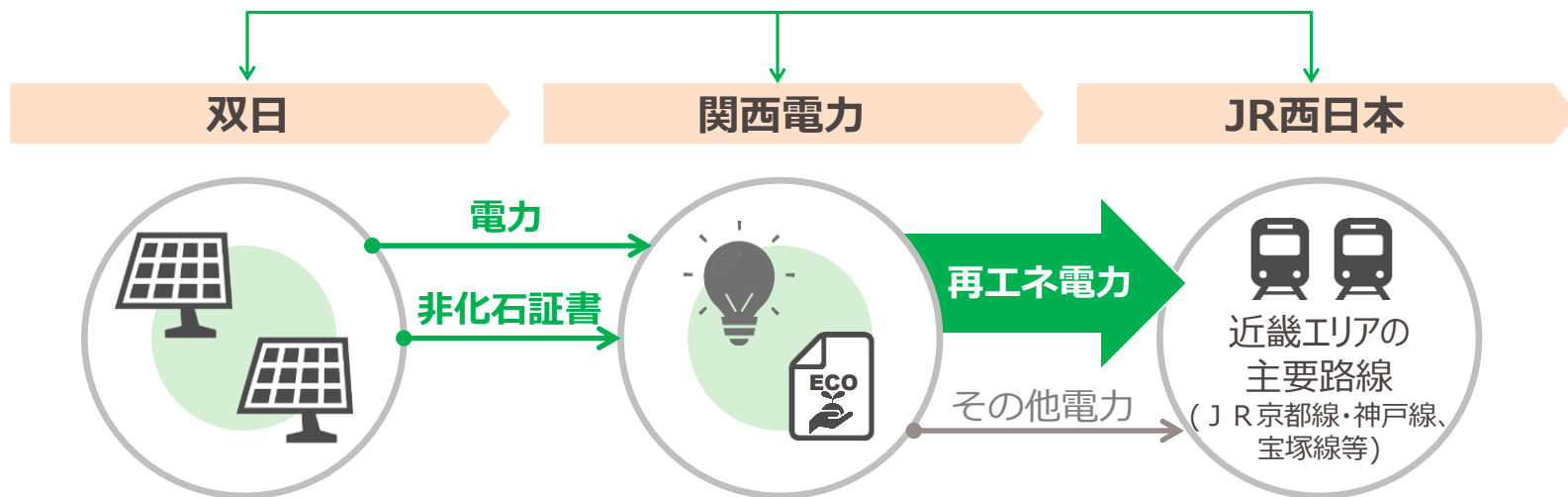
双日およびＪＲ西日本との コーポレートＰＰＡ基本合意の概要

関西電力株式会社

２０２３年１２月１４日

発電事業者	双日株式会社が設立する特別目的会社
小売事業者	関西電力株式会社
需要家	西日本旅客鉄道株式会社
発電出力	合計約 50,000 kW
供給開始時期	2026年度～2027年度（予定）

コーポレートPPAに関する基本合意

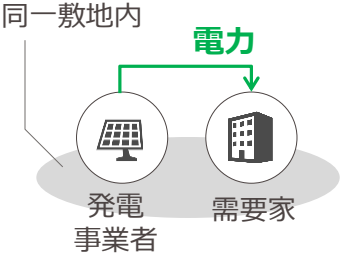
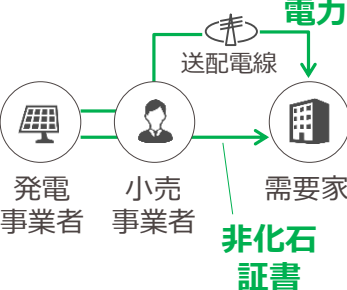
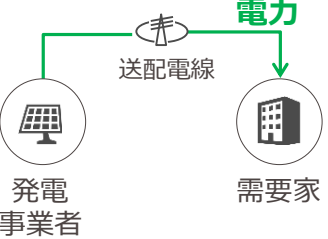


- 太陽光発電設備の開発、運営
- 発電事業者の設立

- 再エネ電力の需給調整、供給
- その他電力の調達・供給

- 再エネ電力の受電、長期安定的な利活用

- コーポレートP P Aとは、需要家と発電事業者が、新たに開発された再生可能エネルギー電力の購入契約を結ぶ電力供給・調達方法。
- 再エネ電源を需要家の敷地内に設置するオンサイト型と、離れた場所に設置するオフサイト型がある。
- オフサイト型は、①小売事業者を介して再エネ電力と非化石証書の双方を取引するフィジカルP P A、②再エネ電力のみを消費する自己託送、③非化石証書のみを取引するバーチャルP P Aがある。

	オンサイト型	オフサイト型		
		①フィジカルP P A	②自己託送	③バーチャルP P A
スキーム	同一敷地内  発電事業者 需要家	 発電事業者 小売事業者 需要家 電力 送配電線 非化石証書	 発電事業者 需要家 電力 送配電線	 発電事業者 需要家 非化石証書
概要	同一敷地内で、再エネ電力を消費。	離れた場所から、小売事業者を介して、電力と非化石証書の双方を取引。	離れた場所から、小売事業者を介さず、再エネ電力を消費。	離れた場所から、小売事業者を介さず、非化石証書のみを取引。